

事 務 連 絡

令和 7 年 5 月 1 3 日

各都道府県・指定都市図書館・学校図書館担当課

各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 課

附属学校を置く各国立大学法人学校図書館担当課 御中

各 国 公 私 立 大 学 図 書 館 担 当 課

文部科学省総合教育政策局

地 域 学 習 推 進 課

文 部 科 学 省 研 究 振 興 局

参 事 官 （ 情 報 担 当 ） 付

「電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン 2.0」について（周知）

平素より読書バリアフリーの推進にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

文部科学省・厚生労働省では、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（令和元年法律 49 号。以下、「読書バリアフリー法」という。）」第 7 条に基づき、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、令和 7 年 3 月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画（第二期）」を策定いたしました。基本計画は、アクセシブルな電子書籍等を提供する民間電子書籍サービスについて整理した「電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン」の普及を促進し図書館への導入を支援することを求めています。

この度、「図書館におけるアクセシブルな電子書籍サービスに関する検討会」（事務局は国立国会図書館）が「電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン 1.0」を更新し、「電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン 2.0」を公開しましたので、別紙のとおり送付いたします。今回の更新では読書に困難を抱える人の多様なニーズに対応することを目的とし、ガイドラインが対象とするアクセシビリティ機能に発達障害等（発達性ディスレクシアを含む）による読み困難を抱える人たちからのニーズが高い、フォントの変更、色反転、字間・行間の調整、縦書き・横書きの切替えについてのアクセシビリティ要件を追加いたしました。

本ガイドラインは、公立図書館、大学図書館、学校図書館（以下「公立図書館等」という。）

及び電子図書館事業者に以下のように活用されることが想定されております。

本件について、各都道府県担当課長におかれては、所管の学校・図書館及び域内の市（指定都市を除く。）区町村に対し、各指定都市担当課長におかれては、所管の学校・図書館に対し、各都道府県私立学校主管部課におかれては所轄の学校法人等に対して、附属学校を置く各国立大学法人におかれては、その管下の学校に対し、周知くださるようお願いします。

【公立図書館等における活用方法】

- 民間の電子図書館を調達・導入するための調達仕様を検討する際に利用する。
- 導入している民間の電子図書館のアクセシビリティ対応状況を確認するために利用する。
- 電子図書館のアクセシビリティについての理解を深めるために利用する。

【ガイドライン 2.0 の主な更新内容】

○対象とするアクセシビリティ機能の拡張

ガイドライン 1.0 において中心とした音声読み上げに加えて、フォントの変更、色反転、字間・行間の調整、縦書き・横書きの切替えを追加し、それらに関するアクセシビリティ要件を記載しました。

○参考規格に WCAG* 2.1 及び WCAG 2.2 を追加

* Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) は World Wide Web Consortium がウェブコンテンツのアクセシビリティ実現のために求められる基準を示した仕様

○WCAG2.1 及び WCAG2.2 における達成基準の追加に伴う、電子図書館のアクセシビリティ改善に資するアクセシビリティ要件の追加

※詳細は国立国会図書館のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.ndl.go.jp/jp/support/guideline.html>



【本件担当】

（公立図書館・学校図書館における読書バリアフリー推進に関すること）

地域学習推進課図書館・学校図書館振興室

T E L : 03-5253-4111（内）3484 E - mail : tosyo@mext.go.jp

（大学図書館における読書バリアフリー推進に関すること）

参事官（情報担当）付学術基盤整備室

T E L : 03-6734-4428（内）5007 E - mail : jyogaku@mext.go.jp